

▼東海
の活動だより

相山女学園大学特別講義

ラジオドラマの魅力

成田 徹男(CBC)

「音風景の会」は、10月28日(木)相山女学園大学文化情報学部、飯塚恵理人教授の特別授業で、6回目のラジオドラマ体験講義を支援しました。

今回のラジオドラマは、CBCラジオ、昭和35年10月29日放送「ある不在」を採り上げました。あらすじは、50代の、人生に行き詰った男女2人が、心中のため深い樹海に入り込む。ところが、男性(信也)のみ死にきれなく樹海から這い出して来る。そこへ若い女性(冴子)が遭遇する。いろいろと事情を聴いている間に冴子が信也に寄り添ってしまふ。信也は、生きていてはいけない人間だと、また樹海へ向かっていく。冴子が必死に止めようとするが、戻らぬ人となる。悲劇の一幕でした。30分番組放送技術スタッフは、「音風景の会」4名が担当。機材はすべて持ち込みで、授業入替の十分休憩

の間にセッティングは不可能、前説講義の中でも続行して、マイクチェック、音合わせもそこそこでぶつけ本番、出演者の4本のマイク音声、音楽、効果音の再生ミクシング調整、PA拡声と生放送さながらの緊張感を体験しました。



授業風景



自前の音声設備

飯塚恵理人教授より

「デジタルアーカイブ論」で「ラジオドラマの魅力」と題した特別講義を行った。昭和30年代前半というラジオドラマ全盛期の作品、伊藤海彦の詩劇「ある不在」を、本放送時も担当であった松谷敦氏の演出、劇団CBCの俳優であった舟木淳氏、松ヶ崎敬子氏、白濱洋介氏、マツガサキアサミ氏の出演、CBCの技術者であった成田徹男氏と岡本常守氏

の音響と効果という、当時の放送収録をほぼ近い形で再現した。視覚中心の「スマホ世代」の学生達は、聴いて情景や心情を想像するのがやや難しいようであった。しかし初めて教室で聴くプロの声と効果音楽に、「樹海的情景が眼に浮かんだ」「人物の心情が声だけで伝わり素晴らしかった」という感想が寄せられた。一地方である名古屋の放送局にも優れた「ラジオドラマ」文化があったことを次世代に伝えた、貴重な時間となった。「音風景の会」の皆様の御協力に心より感謝致します。



松谷敦講師

飯塚恵理人教授



出演者



- ・講師：元CBCプロデューサー 松谷 敦
- ・出演者：舟木 淳 白濱洋介 松ヶ崎敬子 マツガサキアサミ
- ・技術スタッフ：成田徹男 岡本常守 武藤美喜(カメラ取材) 村上和彦(ビデオカメラ撮影)
- ・授業担当：文化情報学部教授 飯塚恵理人

相山女学園大学
正面玄関

